

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2021-003
2.研究課題名	日本語の単語・文理解のメカニズムに影響する個人差と世代差
3.研究期間	令和3年 5月（倫理審査委員会承認後）～ 令和 6年 3月 31日
4.研究の概要	意義・目的 私たちは普段意識せずに語や文を聞いたり読んだりすることによって外界から情報を得ている。このような認知活動を支える仕組みを検討する研究が蓄積されており、その多くは欧州諸語の言語話者を対象としている。これまで、文や単語の認知処理、特にその速度は、読み手の言語能力や加齢にともなう身体機能低下などに影響されるといわれている（Cop, et al., 2015; Rayner, et al., 2006 等）ものの、漢字・仮名で表記される日本語の単語と文の理解が個々の読み手の特性にいかに関与されるかがまだ明らかになっていない。 そこで、本申請課題はオンラインの事前調査、そして対面の検査・調査・実験（神経心理検査、言語テスト調査、行動実験、眼球運動および脳波実験）を通して、日本語の単語・文理解を説明するモデルの構築に新たな根拠を示し、読み手の特性に適した言語習得と言語機能保持の方案の作成に貢献することを目指す。 Cop, et al., (2015). <i>Psychonomic Bulletin and Review</i>, 22, 1216-1234. Rayner, et al., (2006). <i>Psychology and Aging</i>, 21, 448-465. 方法 実験刺激整備のために、文の自然さ、単語の類似度などについてインターネット経由で調査を行う。また、参加者の特性を把握するために、神経心理検査や言語テスト調査などを行う。実験では、言語表現に対する理解を問う質問にボタン押しで判断し、その正答率、反応時間、眼球運動および脳波を計測する。 謝金は、学外の参加者には時給¥1000（交通費込み）、学内の参加者には時給¥900（本学学生への実験協力謝金規定による金額）、所要時間に応じて支払う。謝金は銀行振り込みもしくはアマゾンギフトカードで支払う。オンラインの調査は、クラウドソーシングサービスの規定に基づいて所要時間に応じて支払う。 問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）